

● 東京・八重洲地区の再開発事業が具体化

4月10日に開催された国家戦略特別区域会議の東京都都市再生分科会にて、東京駅東側の八重洲口での再開発事業の計画概要が公表された。

東京建物が主体の「八重洲一丁目東地区」では、オフィスの他にカンファレンスセンター、医療施設等を備えた地上54階・地下4階、高さ約250mのビル等を建築する計画で、平成32年着工、平成36年竣工予定。三井不動産が主体の「八重洲二丁目北地区」では、オフィスの他にホテル、小学校が入居する地上45階・地下4階、高さ約245mのビル等を建築する計画で、平成30年着工、平成33年竣工予定。いずれも地下にバスターミナルを整備する計画である。

現在、国家戦略特別区域法の「国家戦略都市計画建築物等整備事業」の認定を受けるべく、事業に関する事項の原案の公告、縦覧が行われている。

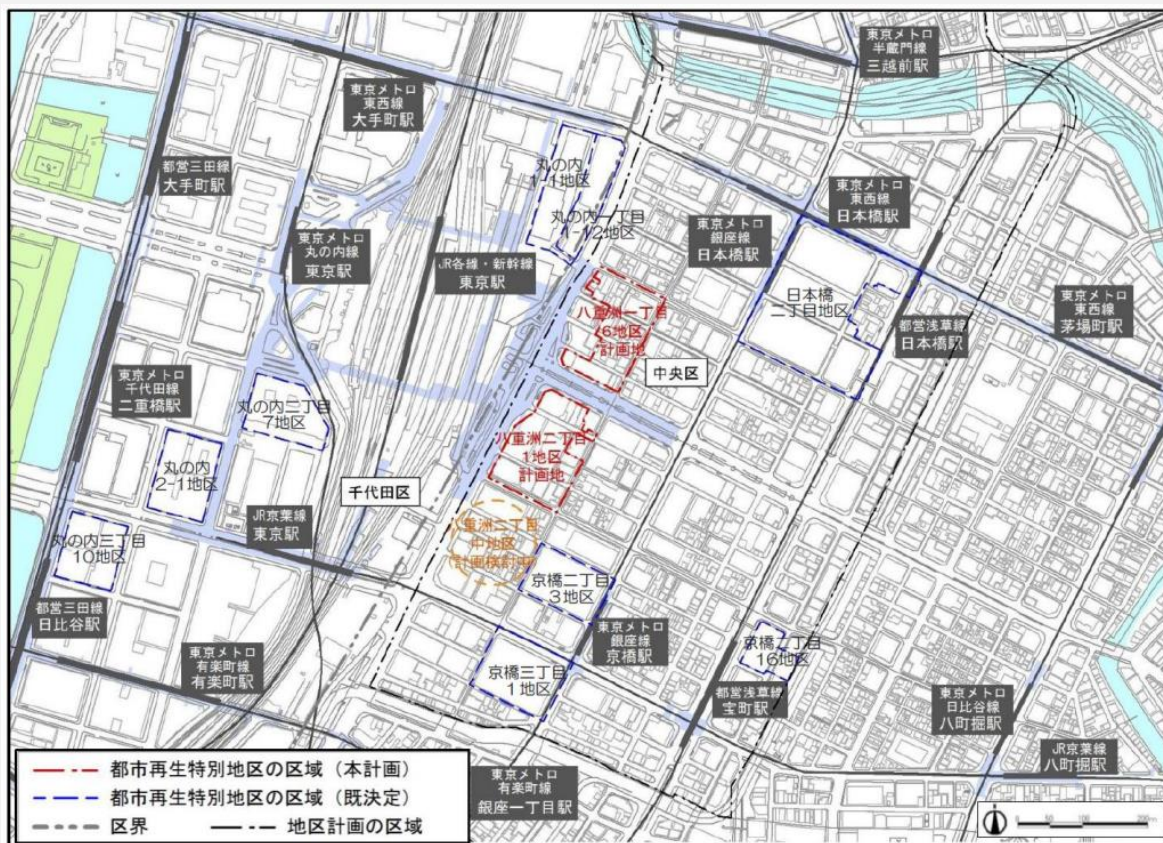


図 東京・八重洲地区の再開発事業の位置図

[リンク：国家戦略特別区域会議 東京都都市再生分科会](#)